

授業科目名 <英訳>	文化行為論 2 B Theories of Cultural Practices 2B	担当者氏名	人文科学研究所 准教授 石井 美保						
配当学年	修士	単位数	2	開講期	後期	曜時限	月2	授業形態	講義
【授業の概要・目的】									
<p>文化行為論は、人々の日常的実践に焦点を当てた文化・社会人類学である。 この講義では、各自が関心をもつ文化人類学のテーマについて受講者が発表を行い、参加者全員でのディスカッションと、講師による解説を中心に授業を進める。 受講者は授業を通して人類学的なテーマに親しむだけでなく、発表とディスカッションを通して民族誌的テキストの読解能力やフィールドワークの方法等を積極的に身につけることが期待される。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>最初の複数回の授業では、講師が人類学的思考の基礎とフィールドワークの方法論を概説する。 以降の授業では、受講者がそれぞれ（場合によっては複数で）テーマを定めて研究発表とディスカッションを行う。 参考までに、2013年度の発表テーマ（受講生が取り上げた民族誌的テキストのテーマ）の一部を以下に挙げる。 ・ツーリズムと人類学 ・アフリカの世界遺産 ・インドにおける夢と儀礼 ・軍人妻の民族誌 ・狩猟採集民の動物分類 ・震災と崇り ・中国の葬送習俗 ・韓国朝鮮研究と人類学 ・アイヌの神話 ほか</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
出席（50％）、授業での発表（50％）									
【教科書】									
授業中に指定する									
【参考書等】									
<p>（参考書） 以下の文献中の石井論文を参照のこと。 石井美保著『精霊たちのフロンティア』2007年、世界思想社／吉田匡興・石井美保・花淵馨也編『宗教の人類学』2010年、春風社／西井涼子編『時間の人類学』2011年、世界思想社／春日直樹編『現実批判の人類学』2011年、世界思想社／菅原和孝編『身体化の人類学』2013年、世界思想社。</p>									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
<p>オフィスアワーは特に設けない。問い合わせはmishii@zinbun.kyoto-u.ac.jpにて受け付ける。 オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。</p>									